

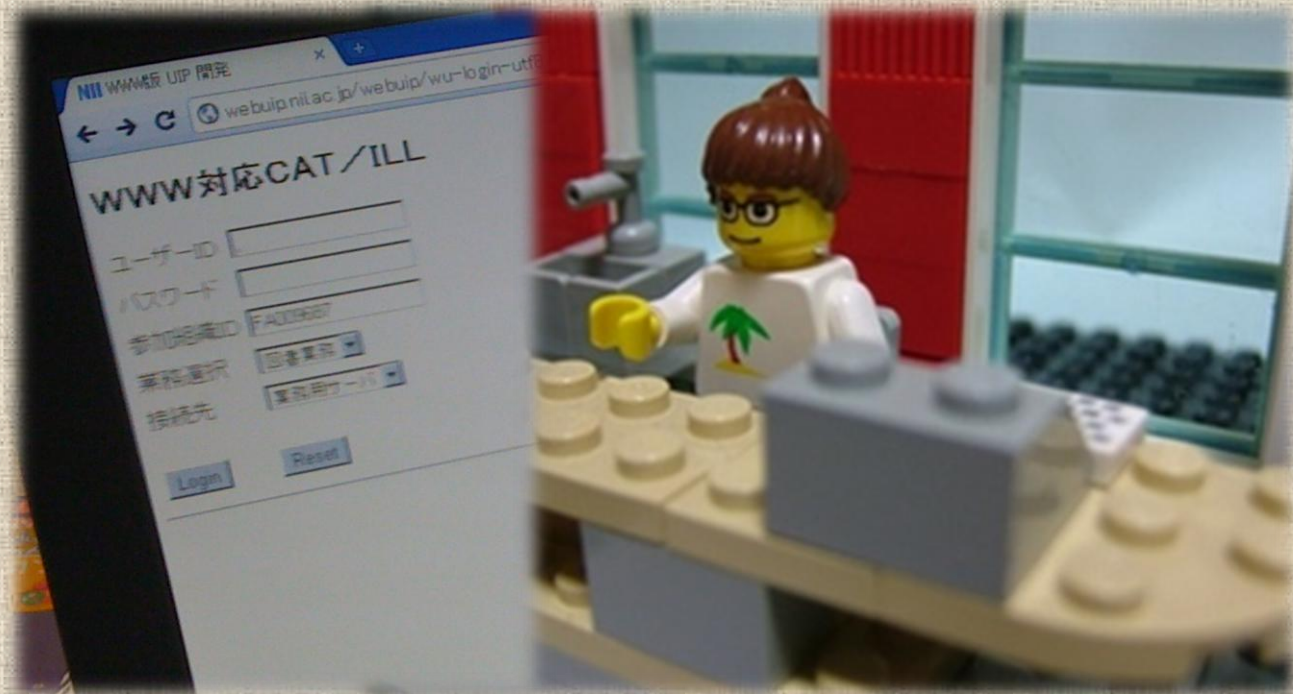
2010/12/10

平成22年度 NACSIS-CAT/ILLワークショップ  
2班 討議成果物

# カタログガーのなやみを解決 -次世代書誌調整連絡ツールの提案-

3. 岡田逸太(神戸大学)
4. 澤口由好(名古屋大学)
9. 林賢紀(農林水産研究情報総合センター)
10. 藤本愛子(旭川医科大学)

# とあるカタログガー



LEGOの町でもNACSIS-CAT/ILLを  
便利に使っているけど、書誌調整は面倒よね  
メールでのやり取りはもう大変

# カタロガーのなやみ 1

- 相談できる人がいない
- 顔の見えない相手とのやりとりの不安



担当者間のつながりや問題解決の場が欲しい



コミュニティ

日本にともだちは  
いないの……



# 目録規則の勉強会

目録システム講習会  
の次の段階として

- NACSIS-CAT準拠
- できれば目録規則自体も

地域講習会の  
単位で開催

- 全国で開催、ネットで中継
- 開催館の負担増？

自学自習の  
環境とフォロー

- 事前課題で自習
- 現場での事例報告と情報交換



スキルアップの結果を、NII主催行事や図書館総合展などで  
参加館全体にフィードバック

# カタログガーのなやみ 2

書誌調整の負担って  
大きくない？

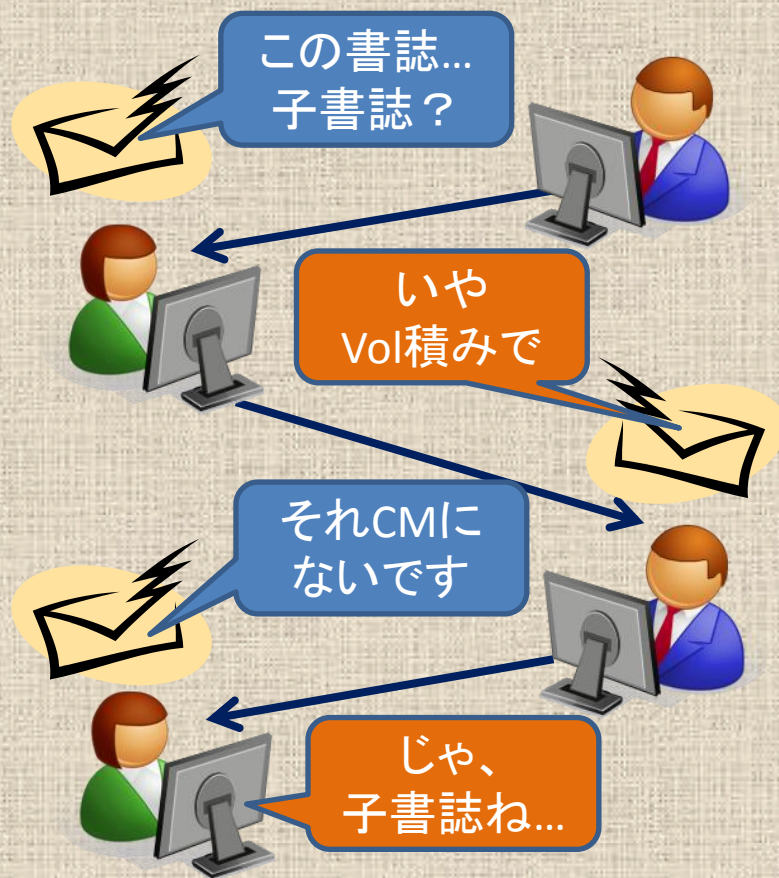


なぜ負担なのか？

- フローが煩雑
- マニュアルがもの足りない(事例が少ない)
- ある日突然書誌が修正されている
- スキル不足
- 相談できる人が身近にいない
- 担当職員が少ない

# 現在の書誌調整は

- メールで担当者同士がやりとり→記録が残らない！



調整の結果、  
新たな記述が追加



この書誌、どうして  
子書誌なの？  
わかんない！！

????  
??  
??  
??  
??  
??  
??  
??  
??  
??  
??

??  
??  
??  
??  
??

作成館と調整...  
あーあ、めんどろ

# 書誌調整の履歴を共有

書誌調整Web



BB08841237  
調整内容

この書誌...  
子書誌？



カシャ  
カシャ



いや  
Vol積みで



それCMに  
ないです



じゃ、  
子書誌で



カシャ  
カシャ



!!

これなら  
なっとく！

CM

コーディングマニュアル  
などとリンク  
→ 実例として参照

- Webサイト上で議論する  
→ 調整の過程が記録され  
後から参照可能

# 次世代書誌調整連絡ツール(案)

どんなシステム？

- ・NIIの書誌調整連絡ツールを利用
- ・コーディングマニュアルとのリンク
- ・タグをつけて簡単に検索
- ・イメージは、Wikipediaのノート



# 次世代書誌調整連絡ツール(案)

書誌調整自体  
を効率化

- 特に多数の書誌を作成する館の負担を減らす
- 過去の経緯を把握して再度の書誌調整を防ぐ

調整の過程を  
記録、可視化

- 担当者が異動しても経験を継承できる

コーディングマ  
ニュアルとの  
リンク

- コーディングマニュアルに対する記述事例を増やす
- より多くの事例から学ぶ

書誌の品質向上

担当者のスキルの維持、継承と

コーディングマニュアルを  
見直す素材の蓄積

# とあるカタロガー その後



日本の図書館にも知り合いはできたし、  
今度会いたいわ！



これで、この町の図書館の目録も  
総合目録も充実するわね

カタロガーのスキルアップは  
まだまだ つづく